主題：ノア、ダニエル、ヨブ――
命の路線において勝利を得る命を生き、神のエコノミーを完成する模範

メッセージ　2

ノア（1）

義の公布者

聖書：創 6:8-9．7:1．ヘブル 11:7．Ⅱペテロ 2:5

Ⅰ．「それからエホバはノアに言われた、『‥‥あなただけが、この世代にあって、わたしの前に義であるのを、わたしは見た』」――創 7:1：

A．人が義であり敬虔であるか、それとも不義であり不敬虔であるかは、神の統治上の裁きに関してとても重要です――Ⅱペテロ 2:5-9。

B．義であるとは神の御前で人に対して正しいことであり、敬虔であるとは人の前で神を表現することです。これはノアが生きた生活の方法、神の義にしたがって神の統治上の裁きから自分を守った生活の方法です。

Ⅱ．「ノアは義人であって、彼の世代では責められるところのない者であった．ノアは神と共に歩んだ」――創 6:9 後半：

A．ノアは敬虔な道と霊的な祝福を父祖たちから受け継ぎました：

1．ノアはアダムの救いの道を受け継ぎ、女の子孫であるキリストの約束と、神が満足する義であるキリストのおおいを受けました―― 3:20-21．イザヤ 61:10 前半。

2．ノアはアベルのささげ物の道を受け継ぎました。それはキリストを神にささげる道であり、ただわたしたちの罪のための犠牲としてだけでなく、神を喜ばせるための賜物としてです――創 4:4。

3．ノアはエノスのエホバの御名を呼び求める道を受け継いで、彼であるすべてを享受しました―― 26 節．ローマ 10:12。

4．ノアはエノクの神と共に歩む道を受け継ぎました。それは神をわたしたちの中心またすべてとし、神にしたがって、神と共に生き、事を行なうことです――創 5:22-24．ヘブル 11:5-6。

B．ノアの義は、神が不敬虔な世代に対する裁きを執行する立場を強化しました――創 6:5-8。

Ⅲ．「信仰によって、ノアは‥‥信仰による義の相続人となりました」――ヘブル 11:7：

A．信仰とは、わたしたちの中に注入されて、わたしたちの信じる能力となった神の要素です――ローマ 3:22：

1．神がわたしたちの中に注入されるとき、彼の要素はわたしたちの信仰となります。

2．神の要素がわたしたちの中に注入された後、何かがわたしたちの中で起こって彼を信じるようになります。これは、わたしたちのために信じるわたしたちの中の神です――ヘブル 12:2。

B．神の義とは、正義と義に関して神が何であるかです――ローマ 3:21．10:3：

1．神の義は単に神聖な属性ではありません。それは神ご自身です。

２．わたしたちは堕落しているので、神は彼の義にしたがってわたしたちを対処しなければなりません―― 3:21-25。

Ｃ．ノアは神を信じ、その結果、義人となりました――ヘブル 11:7．エゼキエル 14:14, 20：

１．ノアは神を信じ、彼の信じたことは神によって彼の義と勘定されました。それはアブラハムに対してと同じでした――創 15:6．ローマ 4:4-5, 9。

２．義人として、ノアは神に対して、人に対して、彼自身に対して正しかったのです――エゼキエル 14:14, 20。

３．まず、ノアは客観的な義を受け、次に恵みを受け、それは彼を強化して主観的な義を生かし出させました――創 6:8-9。

Ⅳ．ノアは邪悪な世代に対する抗議として、義の公布者となりました――Ⅱペテロ 2:5．参照、使徒 24:25：

Ａ．福音は神の力です。それは、神の義が福音の中で啓示されるからです――ローマ 1:16-17。

Ｂ．キリストとの有機的結合の中で、彼はわたしたちに至る神からの義となります――Ⅰコリント 6:17．1:30．使徒 13:39．ガラテヤ 2:16。

Ｃ．義という言葉は、神が彼の民を統治上、行政上取り扱うことでの神の正義と義の思想を具体化します――ヘブル 5:13。

Ｄ．義とは、神の御前で彼の義なる厳格な要求にしたがって、人、事、物に対して正しいことです――マタイ 5:20．申 25:13-16。

Ｅ．義は神の王国の事柄です――マタイ 6:33：

１．義は神の統治、行政、支配と関係があります。

２．義は神の行政のために神から出てきます――詩 89:14．97:2．イザヤ 32:1．ヘブル 1:8-9。

Ｆ．義は、わたしたちの中で命を与える霊として生きるキリストの外側の表現です――Ⅱコリント 3:8-9：

１．その霊と義はいずれも、わたしたちが神のかたちを表現することと関係があります―― 18 節．エペソ 4:24：

ａ．その霊としての神は、実質としてわたしたちの中で行動し、本質としてわたしたちの中に生きています。

ｂ．わたしたちが外側で表現する義も神ご自身です。

２．新契約の務め（その霊と義の務め）は神の務めです――Ⅱコリント 3:8-9。

Ｇ．義とはわたしたちの中で神に対して正しいという事柄です――Ⅰコリント 15:34：

１．わたしたちの中で神に対して正しいとは、透明で水晶のような明るい内なる存在（神の思いと意志の中での内なる存在）を持つことです。

２．このように義であることは、キリストの中で神の義となることです――Ⅱコリント 5:21。

©2005 Living Stream Ministry